

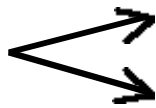
『裁判員制度下における新しい刑事司法手続』

2001.3.23

日本弁護士連合会

制度設計の基本的視点

国民の司法参加の視点



国民の主体的・実質的関与の保障

分かりやすい・透明な手続の保障

法曹と国民の関係の視点



法曹と国民の豊かなコミュニケーションの保障
(適切な役割の分担)

国民の期待に応える刑事司法の視点



公正な手続の保障

具体的制度

証拠開示

争点整理

集中的公判手続

分かりやすい公判審理

直接主義・口頭主義の徹底

書面排除の原則

争いのある事件とない事件の手続の区別

公的弁護制度に関する具体的制度

すべての被疑者・被告人に十分な弁護人の援助を保障

弁護の自主性・独立性の確保

活動に見合った報酬と費用補償

取調べ過程・状況の記録の正確性・客観性の担保

記録の作成者の中立性と再現可能性の保障



取調べ過程の録音・録画を